



マンガに見る方言

日本語学基礎演習

国文学科

日本大学文理学部

NIHON UNIVERSITY

Department of
Japanese Language
and Literature

はじめに

関西弁キャラクター

方言ステレオタイプ

人気作品の方言の使われ方

外国人キャラクターの方言

各雑誌の方言使用傾向

方言使用キャラクター比較

検索

印刷用PDF

▶ 日本大学文理学部国文学科サイト

▶ お問い合わせ

ジャンルごとの方言使用キャラクターのイメージ比較

国文学科2年 熊谷朝子

➔ 「バトルマンガにおける方言キャラクターのイメージ比較」

国文学科2年 北沢有紗

➔ 「スポーツ漫画における方言キャラクターのイメージ比較」

国文学科2年 武藤一路

➔ 「ギャグマンガにおける方言キャラクター」

国文学科2年 黒子 萌

➔ 「恋愛漫画(少年誌掲載)における方言使用キャラの性格と立ち位置」

1.担当者・分析対象データ

2000年代に集英社『週刊少年ジャンプ』に掲載された作品(2000年1号時点で掲載される作品も含む)を分析対象とする(ただし恋愛マンガのみ対象作品がジャンプに無いため、講談社『週刊少年マガジン』に掲載された作品を分析対象とした)

(1) バトルマンガにおける方言キャラクターのイメージ比較：熊谷朝子

『BLEACH』 『シャーマンキング』 『瞳のカトブレパス』 『ZOMBIEPOWDER』

(2) スポーツ漫画における方言キャラのイメージ比較：北沢有紗

『ホイッスル!』 『テニスの王子様』

(3) ギャグマンガにおける方言キャラクターの位置づけと作品における役割について：武藤一路

『こちら葛飾区亀有公園前派出所』 『ピュ〜と吹く!ジャガー』 『銀魂』 『メゾン・ド・ペンギン』 『SKET DANCE』

(4) 恋愛マンガにおける方言使用：黒子萌

『魔法先生ネギま!』 『ラブひな』 『ガチャガチャ』 『KAGETORA』 『涼風』

2.調査概要

各ジャンル分析対象作品内における方言使用キャラクターに注目し、方言を使用するキャラクターの性格、性質といった傾向をつかむとともに、どのような方言がよく使用されるのか。また方言を使用することによりそのキャラクターにどのようなイメージや役割を与え、作品にどのような影響を与えるのかを比較し考察する。

↑ ページ TOP へ